

ばん
わかりやすい版

だれでも
いつでも

ま な し や か い
学べる社会へ

しょうがい かんけい
障害のある・なしに関係なく
とも まな しょうがいがくしゅう
共に学べる生涯学習について

卒業してもたくさんある、 学びの場

▶ 私たちは、学校で 長い間、学んできました。

だから、「勉強は 学校でするもの」、

「卒業したら 学ぶ機会はなくなる」と

考える人も多いかもしれません。

▶ でも、実は、卒業しても 学び続けている人は

たくさんいます。

大人になってからも同じ趣味をもった人たちが

集まって活動をしたり、ボランティア活動をしたり、

アートやスポーツを

楽しんだりしている人がたくさんいます。



あなたの住む街にもダンスや料理、
生け花や書道、パソコンや絵画など、
たくさんの学びの場があるはずです。

こうして 学校以外の場でも学ぶこと、
人生を通して学び続けることを、生涯学習といいます。

▶ 新しいことを学んだり、
自分の好きなことに取り組んだりするのは、
とても楽しいですね。

生涯学習は、こうした「楽しさ」を実現できる場です。

学校を卒業してからも
障害のある人もない人も 共に学び続けることが
できる社会を国は目指しています。



どんな活動ができるの？

地域で仲間と共に 障害者学級の活動



イラストの後ろに立って、
おもしろ写真を撮影。できあがった
写真で写真集をつくりました。



料理のプログラム。
ピザ生地からつくりました。
みんな真剣です。

「青年学級」や「障害者学級」という
言葉を聞いたことがありますか？
公民館や特別支援学校などで
開かれる活動で、
学校を卒業した知的障害の
ある人などが参加できます。
青年学級では、
仲間と共に料理の仕方や
家計簿の付け方など
生活に必要なことを勉強できます。
また、音楽やダンスなどを
行うところもあります。

東京都渋谷区では、
「GAYA」という青年学級が月1回、
社会教育施設で開かれています。
どんな活動をするかは
月によって違いますが、
料理や雑貨をつくったり、
講師と音楽やダンスを楽しんだりと
様々な活動をしています。
時間は、11時から15時まで。
毎回60人くらいが参加して、
グループに分かれて活動しています。
GAYAでは、たくさんの学生や



▶ GAYA夏フェス。グループで
宝つりや魚雷戦ゲームなどの
屋台をつくって夏祭りをします。



▶ 1年間の活動のまとめの会。
みんなで練習したダンスで
もりあがります。

社会人がボランティアとして参加し、
一緒にプログラムを体験して
盛り上げています。

▶ GAYAの参加メンバーの熊澤さんは、
会社で働きながら、
週末はGAYAに参加します。

そのほかにも、障害のある人たちが
中心となって活動
(本人活動とよんでいます)する

「ぐっとあっぷがや」にも
参加しています。

「ぐっとあっぷがや」では、

自分たちのやりたいことを
話しあい、計画をたてて実行したり、
自分たちの暮らしについて調べて、
発表したりしています。

一人で暮らす

知的障害のある人に話を聞きに

いったこともありました。

▶ 青年学級は、全国に

300カ所くらいあります。

みなさんの地域で

青年学級を見つけたら、

ぜひ、参加してみてください。

どんなことが^{まな}学べるの？

^{だいがく} ^{まな}
大学で学ぶ

^{どうきょう}
オープンカレッジ東京



▶「^{だいがく}大学」と聞くと、
なんだか難^{むずか}しそうと思^{おも}いますよね？
でも、大学には ^{だいがく} ^{ひと}どんな人でも
参加^{さんか}できる ^{しょうがいがくしゅう}生涯学習があるのです。

▶ ^{とうきょうと}東京都にある
^{とうきょうがけいだいがく}東京芸芸大学では、
「^{とうきょう}オープンカレッジ東京」という、
^{ちてきしょうがい}知的障害のある人向けの
^{しょうがいがくしゅう}生涯学習を行っています。

^{ねんかん} ^{かい}
1年間で10回くらい、
^{だいがくせい}大学生のように
大学に来て学習^{がくしゅう}しています。

▶ ^ひこの日は、
^{せかい} ^{こめ} ^{まな}
世界のお米について学びました。
^{だいがく} ^{せんせい}
大学の先生が、
^{まい}
ジャバニカ米、インディカ米、
^{まい} ^{いろ} ^{かたち}
ジャポニカ米の色や、形、
^た ^{ようす} ^{とくちょう}
炊いたときの様子などの特徴を

がっこう そつぎょう まな
学校を卒業したら、なに学ぶ？



▶ まずは先生が世界で
食べられているお米について
説明してくれます



▶ 外国のお米を触って、
日本のお米とどう違うか
確かめました。



①要素の整理と観点の命名マトリックス

要素	ジャパニカ米	インディカ米	ジャボニ
米	米	米	米
米の大きさ	稲が広く育ち、米の粒が大きい	稲が狭く育ち、米の粒が小さい	稲が狭く育ち、米の粒が小さい
米の形状	稲が広く育ち、米の粒が大きい	稲が狭く育ち、米の粒が小さい	稲が狭く育ち、米の粒が小さい

▶ お米の種類ごとに
形や大きさがどう違うのか
付せんを書いて貼り付けました。



説明してくれます。
それぞれの違いを
図にまとめながら
世界の食文化を
調べることを通じて
考える力を身につけます。
この日の勉強は、
3時間くらいでした。

▶ オープンカレッジ東京では、
毎回、違った学習をします。
別の日には、理科の実験をしたりします。
大学の先生たちが、
たくさんのことを教えてくれるのが
オープンカレッジ東京の特徴です。
障害のある人たちの
生涯学習の場をつくっている大学は
東京だけでなく全国各地にあります。



自分がやってみたい 生涯学習を 考えてみましょう

▶ ここまでは、生涯学習では
どんなことができるか、見てきました。

▶ ここでは、これから自分が
やってみたい生涯学習のことを、
一緒に考えてみたいと思います。

自分がどんな生涯学習に
チャレンジしてみたいか考えてみましょう。

▶ 周りにいる友達や先生などと
相談してみてもいいですね。

▶はじめに、自分が得意なこと、好きなこと、
「これをしているときがいちばん楽しい」と
思えることを自由に書いてみましょう。



書いてみよう

A large, empty white rectangular box with a thick black border. The top-right corner of the box is folded over, creating a small triangular flap. This area is intended for the user to write their answers to the prompts above.

ワークシートに書いてみましょう

▶ 将来の夢や願い、
「なりたい自分」について
自由に書いてみましょう。



書いてみよう

A large, empty rectangular box with a black border and a folded top-right corner, intended for writing.

▶ 学校を卒業したら やってみたい、
チャレンジしてみたいことが あったら
自由に 書いてみましょう。



書いてみよう

A large, empty rectangular box with a black border and a folded top-right corner, intended for writing.

これから どんなことを
学んでみたいですか？

▶ 得意なこと、やってみたいことは、
あなたが取り組みたい
生涯学習へのヒントになります。
どんなことを学びたいかわかったら、
ぜひ、みなさんの住んでいる街の

生涯学習の場に参加してみてください。

▶ 重い障害があって
外出が難しい人のために、
生涯学習を届けてくれる活動もあります。

▶ 参加したいけど、
どうしたらいいかわからないときは、
役所の生涯学習を担当している
ところに聞いてみましょう。



▶ 生涯学習しょうがいがくしゅうを

どのように進すすめていけばいいか、
考かんがえたり、仕組しくみをつくったりします。

▶ 都道府県とどうふけんや市町村しちょうそんなどが生涯学習しょうがいがくしゅうを
進すすめられているか調しらべます。

▶ 障害しょうがいについて

多くおほくの人に知しってもらいます。

▶ だれでもいっしょに学まなべる環かん境きょうを
つくることことを 目め指さしています。

都道府県とどうふけんや市町村しちょうそん

▶ 障害しょうがいのある人ひとが

生涯学習しょうがいがくしゅうについて

希き望ぼうしていることことや

困こまっていることことを相談そうだんでき、

それそれを解決かいけつできる環かん境きょうをつくりまます。

▶ 生涯学習しょうがいがくしゅうの情じょう報ほうをひろく伝つたえます。

▶ 生涯学習しょうがいがくしゅうをまなべる場ばが少すくないなら、

施し設せつや団だん体たいと 協きょう力りょくしなながら

学まなべる場ば所しょを 増ふやしていきすくます。

▶ 生涯学習しょうがいがくしゅうをどうすすめていくか

計けい画かくや目もく標ひょうを決きめます。

それぞれの やくわり 役割





とくべつ し えん がっ こう 特別支援学校など

▶ せい と生徒が「しょうがいがくしゅう生涯学習をやりたい」と

おも思えるようにします。

▶ そつぎょう卒業してからも^{まな}学びつづけられるよう、

そつぎょう卒業したあとに行く会社や施設と協力します。

だい が く 大学など

▶ しょうがい障害のある人の^{ひと まな ば}学びの場として

き たい期待されています。

▶ しょうがい障害のある^{がくせい}学生のサポートをします。

ち い き だん たい 地域の団体など

▶ しょうがいがくしゅう生涯学習をしたい人たちのための^{ひと}学びの場をつくりま

▶ しょうがいがくしゅう生涯学習の^{まな ば}情報を役所や^{じょうほう}

ほかの^{だんたい}団体に伝えます。

かい しゃ 会社など

▶ しょうがい障害のある人も^{ひと}仲間として^{なか ま}

^{う い}受け入れていっしょに^{はたら}働きます。

▶ ^{はたら}働いている人が^{ひと}自分の^{じぶん}力をのばして^{ちから}

^{し ごと}仕事にいかすことができるよう、

しょうがいがくしゅう生涯学習を サポートします。



生涯学習を支える 支援者のみなさまへ

▶ 学校を卒業した後も、
身近で学べる機会はたくさんあります。
しかし、障害のある人が学べる場が十分でない、
あるいは配慮されている場が少ないのが現状です。
そのため、地域に障害のある人が
学ぶことができる機会をつくり、
伝えていくことが重要です。
同時に今あるさまざまな生涯学習の機会を障害の
有無にかかわらず共に学ぶ場とするため、
社会的な障壁を除去する配慮について、
地域に理解を広げていくことが求められています。

▶ 生涯学習は、学びたいことを学ぶ、
やりたいことをやるというものです。
そのため、障害のある人自身にも
「自分はこんな学びがしたい」と
希望を伝えてもらうことも必要です。

そして、どんな支援や配慮をしてほしいかが
具体的に伝わることで、学びを提供する側も
障害者本人も安心して
生涯学習に取り組めるようになります。

▶ 文部科学省では、障害のある人や支援団体などの
ご意見を踏まえて、
「障害者の生涯学習の推進方策について―誰もが、
障害の有無にかかわらず共に学び、
生きる共生社会を目指して―」という報告書を
平成31年3月にとりまとめました。

▶ 今後、国や地方公共団体で障害のある人の
生涯学習に関する取り組みを進めることが
期待されています。

▶ 特別支援学校では、在学中から、生徒たちの
生涯学習に興味を持ってもらえるような指導を
行っていくことが期待されています。
また、個別の教育支援計画の作成等を通じて、
特別支援学校、地域の福祉施設や企業などとの
連携を進め、卒業後も安心して
学び続けられるようにしていくことが
求められています。



だれでもいつでも まな しゃかい 学べる社会へ

文部科学省 総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課
障害者学習支援推進室

電話 03(5253)4111

ファクス 03(6734)3719

メール sst@mext.go.jp

あなたの街の
しょうがいしゃがくしゅうし まんたんどうまどぐち
障害者学習支援担当窓口

2020年3月 発行

イラスト 鈴木衣津子

デザイン 細山田デザイン事務所

編集 一般社団法人スローコミュニケーション

この冊子は、学校卒業後における障害者の学びの推進に関する有識者会議報告「障害者の生涯学習の推進方策について―誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して―」(平成31年3月)に基づき、知的障害のある人を主な対象とした「わかりやすい版」として作成されています。